

ふるさとわかがまちづくり

猿投自治区

猿投の概要

猿投自治区は、北に猿投山、東と西を猿投山からの稜線に囲まれた「さなげおろし」の吹く「猿投谷」の1番奥に位置し、猿投山を源とする広沢川と猿投川が流れ、南の端を猿投グリーンロード、地区の中央を南東から北西に東海環状自動車道が通り、地区の面積の大部分が猿投山を主体とした山地で、猿投神社の鎮座する地です。



観光・交流のシンボル猿投神社

猿投山は標高629メートル、山上には、その東峰に猿投神社の東の宮、西峰に西の宮が、山麓に本社が鎮座し、また、日本武尊の双子の兄の大碓命の御墓所があり、菊石、団九郎岩屋、猿投七滝、御船石など名所も数多く、東海自然歩道も通り、休日には多くの登山者・ハイカーの訪れる山となっています。

猿投神社は、景行天皇52年大碓命(景行天皇の皇子)が猿投山中において毒蛇に咬まれ御逝去されたので、山中に葬り奉り、仲哀天皇元年(1815年前)勅願により同命を奉祀する神社を草創したといわれております。その祀る主神は大碓命であり、大碓命の父・景行天皇、祖父・垂仁天皇も配祀しています。

また、この神社には、このような由緒を反映し源家八領の1つ「楯無鎧」と言われている大鎧、馬面等の貴重な工芸品、「行安」銘の太刀を初めとする数多くの刀剣、古文孝経の完本を初めとする典



籍類など大変な質、量の文化財が伝えられてきています。

歴史・伝統(猿投祭)

毎年秋の例大祭(最近では10月の第2日曜日とその前日)には地区全体が参加しての、本社、東の宮、西の宮の三社の神輿渡御、村馬の献馬・警固隊の奉納、古式火縄銃の鉄砲隊演技・棒の手奉納などがあり、また大晦日から正月には初詣の方々に大変な賑わいとなります。

自治区の諸行事・活動

【1】自治区主催で毎年実施する主な行事・活動

- 戦没者慰霊祭
- 郷土芸能大会(猿投神社例大祭)
- 町民ふれあい大会(リトポール・ゲートボール大会)
- 敬老会
- 環境美化活動
- 交通安全活動
- 地域安全防犯活動
- ゴミステーション立哨活動
- ちびっこ広場清掃活動
- 里だより発行



春の猿投山



猿投祭

【2】その他の自治区内の行事・活動

自治区内には、次のような組織・団体等があり、それぞれが区民の参加を得て、各種行事・活動を実施しています。

- 自治区を4分する四つの嶋
- 自治区を構成する10の組
- 各種の講
- 神社(猿投神社、広沢神社)
- 寺院(撰取院、大悲殿)
- 和敬クラブ(老人クラブ)
- 猿投町子ども会
- 消防団(16分団第1部)
- 四つの農事組合
- 猿投町棒の手保存会
- 猿投打ち囃子太鼓保存会
- 猿投ざんざ節保存会
- 猿投里山会
- 猿投山愛護会
- 猿投町まちづくり協議会

自治区の課題

現在、自治区が抱える課題は、次の4点です。

- 生活道路と通過道路の分離
- 家庭・事業所等の排水の入らない広沢川・猿投川の復元
- 猿投山を含む自治区内の廃棄物・ごみ等の不法投棄の防止
- 猿投山を一周する道路をしっかりとした構造の道路に改修

猿投自治区データ

(H19.4現在)

- 設立：昭和42年
- 世帯数 162世帯
- 142世帯(昭和51年)
- 組数：10組
- 面積：11.26km²
- 自治区たより「猿投町 里だより」年4回
- 回覧：月1回(随時)
- ちびっこ広場：1箇所
- 防犯灯設置箇所：69箇所
- 小学校：加納小学校
- 自治区会館：猿投町公民館